

2022年度 電線需要見通し改訂概要

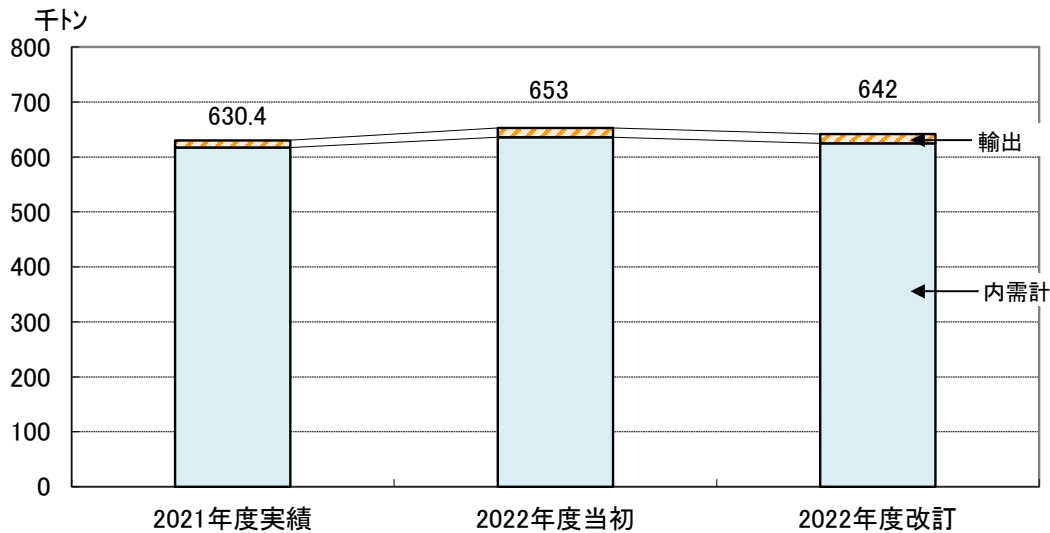
2022年9月
調査統計専門委員会

1. 2022年度需要見通しの前提

2022年度日本経済の見通し(前年度比%)

	当初	改訂
実質GDP成長率	+3.7%	+2.6%
民間最終消費支出	+4.3%	+4.1%
民間企業設備投資	+6.2%	+3.8%
民間住宅投資	+0.5%	-3.6%
鉱工業生産指数	+5.5%	+1.8%

2. 2022年度電線需要改訂予測結果



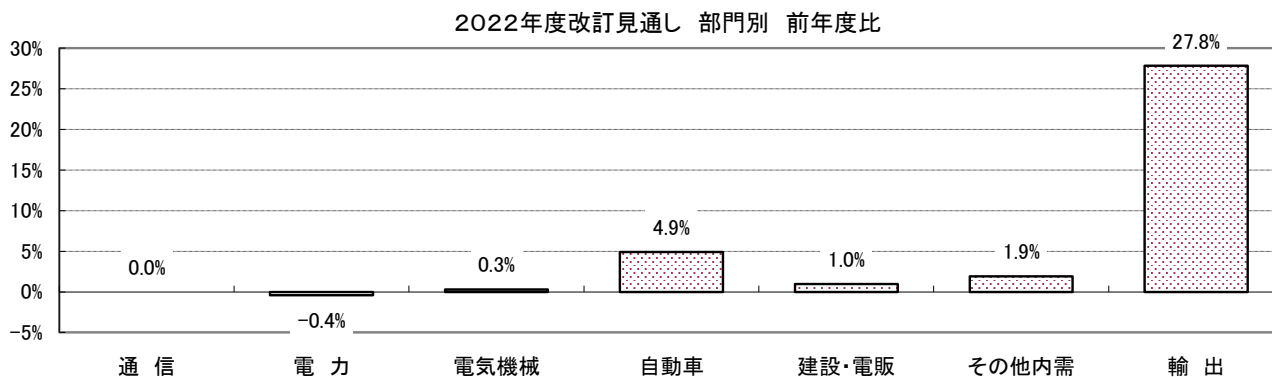
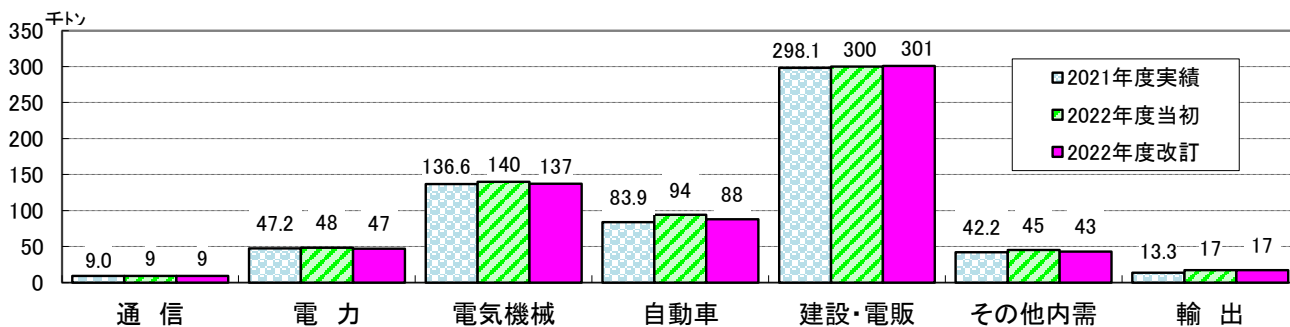
単位:千トン

銅 電 線	2021年度実績	2022年度当初	2022年度改訂	前年度比
内 需	617.1	636	625	1.3%
輸 出	13.3	17	17	27.8%
合 計	630.4	653	642	1.8%

単位:千トン

ア ル ミ 電 線	2021年度実績	2022年度当初	2022年度改訂	前年度比
合 計	26.4	26	24	-9.1%

3. 2022年度各需要部門別出荷見通し



部門	コメント
通信	データセンター、テレワーク需要はあるものの、通信インフラ環境光化の動きは継続し、当初据置、2021年度比横ばいの±0.0%と予測。
電力	高経年ケーブル、施設の更新需要はあるものの、電力会社の投資抑制等により、当初比減、2021年度比-0.4%と予測。
電気機械	半導体不足、原材料高騰等による影響が懸念されるが、緩やかな回復は続き、当初比減ながら、2021年度比+0.3%と予測。
重電	経年設備の更新、再生可能エネルギー関連設備増強により、当初比減ながら、2021年度比+4.5%と予測。
家電	リモートワーク生活、巣ごもり需要が一段落し、当初比減、2021年度比-1.8%と予測。
電子・通信	テレワーク、AI、IoT関連需要の増加により、当初据置、2021年度比+1.0%と予測。
電装品	半導体供給の懸念はあるものの、電動化の進展は続くともて、当初比減ながら、2021年度比+4.3%と予測。
自動車	自動車生産台数の回復は半導体不足、コロナ禍の影響継続、エネルギー価格高騰等により鈍いものの前年度比増、下期の挽回生産を見込んで、当初比減ながら、2021年度比+4.9%と予測。
建設・電販	資材高騰やコロナ禍による工事の延期・中断はあるものの、首都圏再開発案件や工場建設需要を見込み、当初比増、2021年度比+1.0%と予測。
その他内需	公共投公共投資、民間設備投資は徐々に回復するとみて、当初比減ながら、2021年度比+1.9%と予測。
輸出	コロナ禍で落ち込んでいた需要が回復基調に転じ、2021年度比増と予測。ウクライナ危機の影響により、下期減速の懸念。

以上

2022年度電線需要見通し改訂
(総括表)

2022年9月
単位:千トン

区 分 年 度		出 荷			
		銅 電 線		アルミ電線	
		実績及び見通し	前年度比	実績及び見通し	前年度比
			(%)		(%)
2015(実績)		699.2	-3.4	26.0	8.8
2016(実績)		680.2	-2.7	28.4	9.2
2017(実績)		686.9	1.0	28.5	0.4
2018(実績)		697.8	1.6	29.9	4.9
2019(実績)		694.2	-0.5	31.0	3.7
2020(実績)		622.6	-10.3	31.9	2.9
2021 実績	上期	305.3	(3.4)	13.7	(- 10.5)
	下期	325.1	(- 0.7)	12.8	(-22.9)
	計	630.4	1.3	26.4	-17.2
2022 当初 見通し	上期	322	(5.5)	13	(- 5.1)
	下期	331	(1.8)	13	(1.6)
	計	653	3.6	26	-1.5
2022 改訂 見通し	上期	310	(1.5)	10	(- 27.0)
	下期	332	(2.1)	14	(9.4)
	計	642	1.8	24	-9.1

- (注) 1. ()内は前年同期比を示す。
 2. 四捨五入のため計と合わない場合もある。
 3. 当初…2022年3月、改訂…2022年9月策定のもの。

[HN220907]

2022年度電線需要見通し改訂 (主要部門別)

2022年9月

単位:千トン

部 門	年度 期	出 荷						
		2021 (実績)	2022 (見 通 し)					
			当 初			改 訂		
			上期	下期	計	上期	下期	計
通 信	9.0	5	4	9	4	5	9	0.0
電 力	(14.9)	(7)	(7)	(14)	(6)	(8)	(14)	(-6.0)
電気機械	136.6	70	70	140	66	71	137	0.3
重電	20.1	/	/	22	/	/	21	4.5
家電	11.2	/	/	12	/	/	11	-1.8
電子・通信	28.7	/	/	29	/	/	29	1.0
電装品	53.7	/	/	57	/	/	56	4.3
その他	22.9	/	/	20	/	/	20	-12.7
自 動 車	83.9	47	47	94	40	48	88	4.9
建設・電販	298.1	146	154	300	145	156	301	1.0
その他内需	(5.8)	(3)	(3)	(6)	(3)	(3)	(6)	(3.4)
内 需 計	42.2	22	23	45	21	22	43	1.9
	(20.7)	(10)	(10)	(20)	(9)	(11)	(20)	(-3.4)
輸 出	617.1	314	322	636	298	327	625	1.3
	(5.7)	(3)	(3)	(6)	(1)	(3)	(4)	(-29.8)
合 計	13.3	8	9	17	12	5	17	27.8
	(26.4)	(13)	(13)	(26)	(10)	(14)	(24)	(-9.1)
	630.4	322	331	653	310	332	642	1.8

(注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。

[HN220907]

2. 四捨五入のため、計と合わない場合もある。

3. 当初…2022年3月、改訂…2022年9月策定のもの。

2026年度 中期電線需要見通し概要

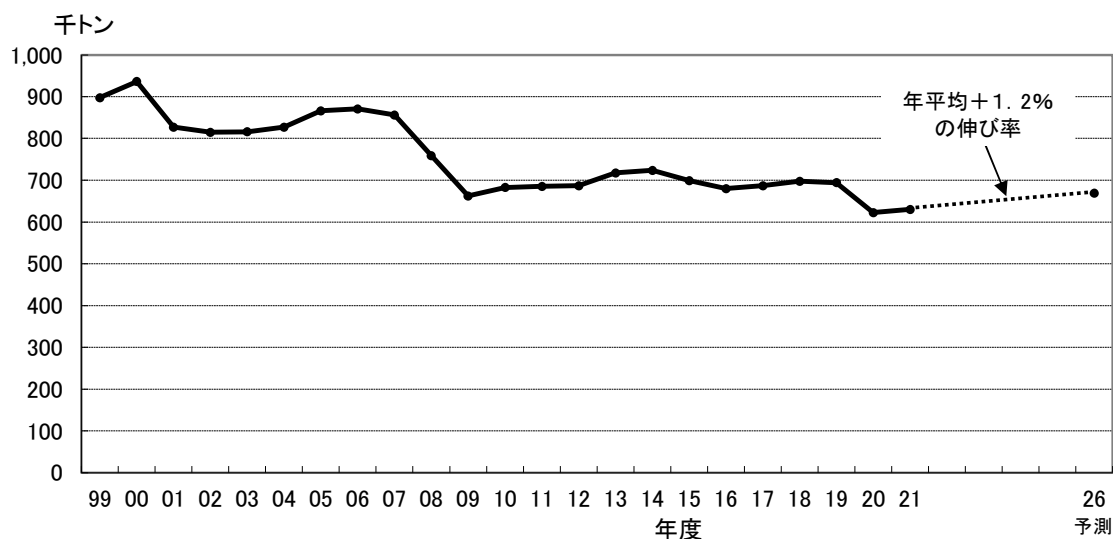
2022年9月
調査統計専門委員会

1. 2026年度中期需要見通しの前提

2021～2026年度日本経済の見通し(年平均伸び率 %)

実質GDP成長率	+1.3%
民間最終消費支出	+1.5%
民間企業設備投資	+2.6%
民間住宅投資	-1.9%
公的固定資本形成	+1.6%
鉱工業生産指数	+1.8%

2. 2026年度中期電線需要予測結果



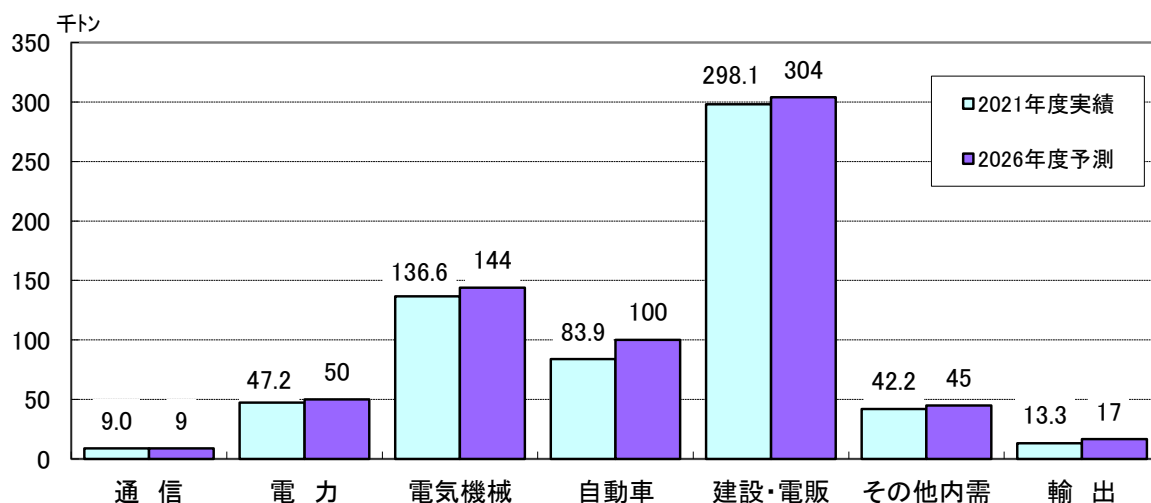
単位:千トン

銅 電 線	2021年度実績	2026年度予測	21～26 年平均伸び率
内 需	617.1	652	1.1%
輸 出	13.3	17	5.0%
合 計	630.4	669	1.2%

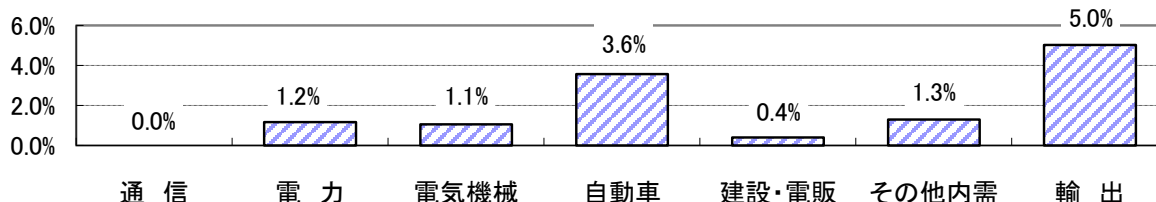
単位:千トン

アルミ電線	2021年度実績	2026年度予測	21～26 年平均伸び率
合 計	26.4	30	2.6%

3. 2026年度各需要部門別出荷見通し



2026年度中期見通し 部門別 2021～2026年平均伸び率



部門	コメント
通信	データセンター需要はあると思われるが、通信インフラ環境光化の動きも継続するとみて、2021年度比横ばいと予測。
電力	再生可能エネルギー拡大による需要増が見込まれ、2021年度比増と予測。
電気機械	コロナの影響からの復活による民間設備投資や再生可能エネルギー関連の需要増を期待し、2021年度比増と予測。
重電	再生可能エネルギー関連の設備増強の継続が見込まれ、2021年度比増と予測。
家電	高性能家電需要はあるものの、海外生産シフトも継続し、2021年度比横ばいと予測。
電子・通信	医療、ロボット関連でデジタル化、無人化、省力化の需要増に期待し、2021年度比増と予測。
電装品	CASEの進展は長期的に継続するとみて、2021年度比増と予測。
自動車	国内需要は人口減少、車離れによる縮小傾向が継続するも、新型コロナの影響解消によるグローバル需要回復と電動化の進展継続に期待し、2021年度比増と予測。
建設・電販	新型コロナの影響からは徐々に回復するものの、人口減少に伴う建築投資の縮小も続くとみられ、2021年度比微増と予測。
その他内需	民間設備投資の堅調な回復に期待し、2021年度比増と予測。
輸出	再生可能エネルギーの普及拡大に伴い、需要回復が見込まれ、2021年度比増と予測。

以上

表1

中期電線需要見通し
(出荷ベース)

2022年9月

単位:千トン

部門	年度	2020		2021		2022		2026		26/21	26/22
		実績	実績	構成比	見通し改訂	構成比	予測	構成比	年平均伸び率	年平均伸び率	
通信		10.4	9.0	(%) 1.4	9	(%) 1.4	9	(%) 1.3	(%) 0.0	(%) 0.0	
電力		(17.5) 47.6	(14.9) 47.2	(56.4) 7.5	(14) 47	(58.3) 7.3	(17) 50	(56.7) 7.5	(2.7) 1.2	(5.0) 1.6	
電気機械		130.2	136.6	21.7	137	21.3	144	21.5	1.1	1.3	
	重電	20.9	20.1	/	21	/	22	/	1.8	1.2	
	家電	10.4	11.2	/	11	/	11	/	-0.4	0.0	
	電子・通信	24.5	28.7	/	29	/	31	/	1.6	1.7	
	電装品	56.3	53.7	/	56	/	60	/	2.2	1.7	
	その他	18.2	22.9	/	20	/	20	/	-2.7	0.0	
自動車		82.4	83.9	13.3	88	13.7	100	14.9	3.6	3.2	
建設・電販		299.4	298.1	47.3	301	46.9	304	45.4	0.4	0.2	
その他内需		(5.9) 40.8	(5.8) 42.2	(22.0) 6.7	(6) 43	(25.0) 6.7	(7) 45	(23.3) 6.7	(3.8) 1.3	(3.9) 1.1	
内需計		(23.4) 610.8	(20.7) 617.1	(78.4) 97.9	(20) 625	(83.3) 97.4	(24) 652	(80.0) 97.5	(3.0) 1.1	(4.7) 1.1	
輸出		(8.5) 11.8	(5.7) 13.3	(21.6) 2.1	(4) 17	(16.7) 2.6	(6) 17	(20.0) 2.5	(1.0) 5.0	(10.7) 0.0	
合計		(31.9) 622.6	(26.4) 630.4	(100.0) 100.0	(24) 642	(100.0) 100.0	(30) 669	(100.0) 100.0	(2.6) 1.2	(5.7) 1.0	

[HN220907]

- (注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。
2. 四捨五入のため、計と合わない場合がある。

